



裾野市議会議員

か も ひろ み
賀 茂 博 美

発行: かも博美後援会

裾野市伊豆島田 230-4

TEL・FAX: 993-1876

http://www2.ocn.ne.jp/~kamo163/

《 ご挨拶 》

現在、裾野市議会では、より市民の皆さんにわかりやすい、開かれた議会を目指し、議会改革の一つとして、『裾野市議会基本条例』の制定を目指しています。7月末には市民説明を開催いたしますので、皆さんからのご意見を是非お聞かせください。また、今年も暑い夏がやってきました。昨年同様、節電対策に取り組まれている家庭も多いかと思いますが、熱中症には十分お気を付け、元気に夏を乗り切りましょう！



行 政 報 告

震災がれき本格焼却について

東日本大震災から1年4カ月が経過しようとしています。裾野市では震災がれきの受入れに向け、5月16日に試験焼却を実施しました。放射能関係を含むすべての結果は市内家庭ごみとほぼ同程度であり、受入れ予定としている岩手県山田町の震災がれきの安全性は確認されたと判断しました。この結果を最終処分場、美化センター所在地区の方々へ報告し、本焼却を行うことのご理解をいただきました。

裾野市は正式に震災がれきの本焼却を実施していきます。



受入れ時期：平成24年7月中旬以降～平成26年3月

受入れ処理量：12トン/週（一日最大6トン、週2回の搬入）

《震災がれき本焼却の安全確認》

施設名	測定項目	測定頻度
美化センター 	搬入された震災がれきの放射能濃度	1回/月
	一般ごみと震災がれきを混焼したときの主灰と飛灰の放射能濃度	1回/月
	一般ごみと震災がれきを混焼したときの集合煙突における排ガスの放射能濃度	1回/月
	工場棟内5か所及び敷地境界5か所の空間線量率	1回/週
	☆ 周辺公共施設(千福が丘ひかり幼稚園や富岡保育園、不二聖心女学院、大畑地区など)10か所の空間線量率	1回/週
最終処分場 	浸出水を処理施設で処理した放流水の放射能濃度	1回/月
	周辺2か所の地下水の放射能濃度	1回/月
	敷地境界5か所の放射能濃度	1回/週
	☆ 周辺公共施設(バイオパーク富士裾野、須山幼稚園など)4か所の空間線量率	1回/週
水道水源	3か所(下和田・北部・石脇)の地下水の放射能濃度	1回/3月

☆; 裾野市独自での測定

最終処分場や水道水源については、震災がれきの受入れ終了後も引き続き、測定が行われる予定となっています。また、震災がれき運搬、☆印以外の測定に要する経費は環境省からの予算が充てられる予定となっています。



がんばる産業の応援策

Q すべての産業に対する産業支援センターを検討しては？

A 現在、商工会にて経営指導の支援を実施。ビジネスマッチングや販路拡大には静岡県産業振興財団、静岡県中小企業団体中央会を活用するよう情報提供を行っている。

Q 熱海市、牧之原市のように商工会等と連携し市役所内に支援窓口を設けることは？

A 要望があれば今後検討していく

『空き家バンク』の取り組みを

『空き家バンク』とは、定住人口拡大の策として、空き家を有効活用し、空き家の情報提供を行うものです。

Q 裾野市内の空き家の数は？

A 別荘地を含め 3,020 世帯。
別荘を除くと 1,227 世帯の空き家がある。

Q 『空き家バンク』の開設を検討しては？

A 他県、県内他市の実施状況、効果等を参考に、担当部署の選定も含め制度研究する。

Q 小山町を参考に、宅建協会と連携し、不動産情報を発信する方法も考えられないか？

A 課題として正確な不動産情報の提供、建物については許可内容の確認の必要性、宅建法に抵触しないか業務内容の精査が必要。

『バル』『街コン』の声掛けと支援を

『バル』とは飲食店・販売店をチケット制で食べ歩きするイベントであり、『街コン』は地域活性化と婚活支援を目的としたイベントです。

Q 『バル』『街コン』に対し、行政と商工会、市民団体等が連携し地域活性化を図っては？

A 飲食店等を主体とした商店街、個店の皆様の熱意に期待したい

児童発達支援施設の経過

児童発達支援施設は、石脇地先に開設予定です。建設・運営には民間事業者でなければ国からの補助金が交付されません。民間事業者から募集、選定を行い、『富岳会』が開設していただくことになりました。

Q 施設整備に対する裾野市の支援体制は？

A 市有地の貸し出し、また、国・県からの補助金が受けられるよう必要な支援をしていく。

Q 近隣市町への協力要請の状況は？

A サービス提供対象区域に長泉町、清水町等があるが、富岳会から相談があった時点で検討していく

Q 今後は行政間のみならず、民間を含めた連携が必要である。連携体制は？

A 施設への入園や就学相談など、富岳会と関係部署等が連携を図り事業の推進をしていきたい

パノマロードを走行により音楽を奏でるメロディロードへ

メロディーロードとは、道路舗装の表面を加工することにより、車両が通過する際、タイヤと舗装面の間で発生する走行音が音楽のように聞こえる道路のことです。

Q パノマロードをメロディーロードとして整備し、新たな観光資源としては？

A パノマロードは、観光道路としての側面、防衛補助事業の整備道路の側面、産業道路としての側面など、多目的な側面を持つ道路であるため、関係部署の調整や費用対効果を含め、今後研究していく。



編集後記

今回の一般質問では大きく5つの質問を行いました。一般質問では議員の持ち時間は30分、質問回数は3回までとなっています。議員にとって公の場で市長に対し、市政方針について提案すること、自分の考えを述べ質問できるチャンスは、年4回の定例会で行われる一般質問のみです。

今回は欲張り過ぎて、持ち時間が足りなくなるハプニングもありましたが、今後はしっかりと掘り下げられる一般質問を行いたいと思います。

お忙しい中、議場へ足を運び、傍聴にいらして下さった皆様ありがとうございました。